平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 イワブチ株式会社　　上場取引所　東
コード番号 5983　URL http://www.iwabuchi.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 内田 秀吾
問合せ先責任者　(役職名) 専務取締役経理部長　(氏名) 池谷 謙一　TEL 047-368-2222(代)

四半期報告書提出予定日　平成26年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	8,022	9.7	796	―	938	―	573	―
25年3月期第3四半期	7,312	1.4	△22	―	43	△88.6	33	△74.8

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　774百万円　(―%)　25年3月期第3四半期　54百万円　(△40.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	52.15	―
25年3月期第3四半期	3.04	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	18,090	14,449	79.7
25年3月期	17,318	13,703	79.1

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　14,424百万円　25年3月期　13,703百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	5.00	―	10.00	15.00
26年3月期	―	5.00	―		
26年3月期(予想)				10.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,289	1.2	806	84.7	982	83.0	531	46.3	48.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 北栄鉄工株式会社 、 除外 ―社 (社名)
(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
②①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	11,000,000 株	25年3月期	11,000,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	11,556 株	25年3月期	11,508 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	10,988,464 株	25年3月期3Q	10,988,503 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な経済政策や日本銀行の金融政策などを背景に、企業収益の改善や個人消費にも明るい兆しが見られるなど景気は緩やかな回復基調となりました。一方海外では、依然として欧州の経済不安や新興国の景気減速など、先行きは不透明な状況にあります。

当社グループに関連し電力会社では、原子力発電の長期稼動停止に伴い電力需給が厳しい中、資材・役務調達コストの削減や、代替発電の燃料費負担の増加などから設備投資が抑制傾向にあります。

また、情報通信関連において、ＮＴＴではスマートフォンやタブレット端末の普及を受けて、光回線工事は依然減少傾向にあります。

このような事業環境のもと、当社グループの生産部門では、国内において省人化設備の導入や工程集約によるコスト削減ならびに品質の向上を図りました。海外の中国工場である海陽イワブチにおいても、設備効率化の推進を図り価格競争力のある製品の生産に取り組みました。

一方、営業部門では、警察庁の補正予算に伴う老朽化した信号柱建替や信号灯器のＬＥＤ化工事、電気通信事業者による光伝送路や移動体アンテナ設置工事、ＮＴＴコンクリート柱の建替関連製品の拡販など精力的な営業を展開しました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は8,022百万円と前年同期に比べ709百万円、9.7％の増収となりました。また、経常利益は938百万円と前年同期に比べ895百万円の増益となり、四半期純利益は573百万円と前年同期に比べ539百万円の増益となりました。

セグメントに代わる需要分野別の業績は次のとおりであります。

① 交通信号・標識・学校体育施設関連

交通信号・標識関連は、警察庁の補正予算に伴う老朽化した信号柱建替や信号灯器のＬＥＤ化工事が好調に推移しました。また、学校体育施設関連は、防球ネット、照明工事共に小規模な補改修工事が主体ながら好調に推移しました。その結果、売上高は1,090百万円と前年同期に比べ106百万円、10.9％の増収となりました。

② ブロードバンド・防災無線関連

ブロードバンド・防災無線関連は、全国的に物件工事が好調に推移しました。その結果、売上高は882百万円と前年同期に比べ60百万円、7.4％の増収となりました。

③ 情報通信・電話関連

情報通信関連は、電気通信事業者が進めている光伝送路や移動体アンテナ設置工事が全国的に好調に推移しました。また、電話関連においてＮＴＴでは、関東・北海道エリアを中心とする老朽化したコンクリート柱の建替工事などが好調に推移しました。その結果、売上高は2,286百万円と前年同期に比べ352百万円、18.3％の増収となりました。

④ 配電線路関連

配電線路関連は、電力会社における原子力発電停止に伴う火力発電用の燃料費や原子力安全対策コストの増加により配電工事が抑制傾向にあるなか、再生可能エネルギーに関連する工事などが好調に推移しました。その結果、売上高は2,344百万円とほぼ前年同期並みとなりました。

⑤ その他

民間設備投資は、政府の積極的な経済政策の影響もあり全国的にＬＥＤ照明関連工事などが好調に推移しました。その結果、売上高は1,417百万円と前年同期に比べ234百万円、19.8％の増収となりました。

（２）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ772百万円増加し、18,090百万円となりました。

当第３四半期連結累計期間における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（資産の部）

流動資産は、前連結会計年度末に比べ596百万円増加し、10,057百万円となりました。

これは、主に現金及び預金が689百万円増加したことと、受取手形及び売掛金が135百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ176百万円増加し、8,033百万円となりました。

これは、主に有形固定資産が34百万円及び投資その他の資産が139百万円増加したことによるものです。

（負債の部）

負債は、前連結会計年度末に比べ26百万円増加し、3,640百万円となりました。

これは、主に支払手形及び買掛金が147百万円、未払法人税等が268百万円増加したことと、短期借入金が161百万円、賞与引当金が107百万円及び役員退職慰労引当金が76百万円減少したことによるものです。

（純資産の部）

純資産は、前連結会計年度末に比べ745百万円増加し、14,449百万円となりました。

これは、主に利益剰余金が524百万円、その他有価証券評価差額金が113百万円及び為替換算調整勘定が82百万円増加したことによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の業績予想につきましては、平成25年10月22日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」における業績予想に変更はありません。

なお、今後の業績推移等によって、業績予想の変更が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成25年５月22日付で北栄鉄工株式会社の株式を取得し、子会社化したため、第１四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,601,780	4,291,456
受取手形及び売掛金	3,779,963	3,644,249
商品及び製品	1,649,625	1,647,234
仕掛品	153,947	169,576
原材料及び貯蔵品	198,204	237,414
その他	307,775	246,288
貸倒引当金	△230,413	△179,006
流動資産合計	9,460,882	10,057,213
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,498,393	2,490,502
土地	3,181,904	3,229,505
その他（純額）	542,373	537,269
有形固定資産合計	6,222,672	6,257,276
無形固定資産	112,404	114,816
投資その他の資産		
投資有価証券	1,144,361	1,369,962
その他	550,920	374,674
貸倒引当金	△173,142	△83,291
投資その他の資産合計	1,522,140	1,661,345
固定資産合計	7,857,216	8,033,438
資産合計	17,318,099	18,090,652

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,369,148	1,516,895
短期借入金	358,000	196,668
未払法人税等	89,482	357,573
賞与引当金	230,610	123,255
その他	357,251	367,674
流動負債合計	2,404,493	2,562,066
固定負債		
長期借入金	407,000	342,859
退職給付引当金	421,485	443,732
役員退職慰労引当金	236,639	159,939
その他	144,528	132,355
固定負債合計	1,209,652	1,078,885
負債合計	3,614,145	3,640,952
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,496,950	1,496,950
資本剰余金	1,210,656	1,210,656
利益剰余金	10,782,428	11,306,973
自己株式	△2,886	△2,906
株主資本合計	13,487,148	14,011,673
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	183,587	297,293
為替換算調整勘定	33,217	115,631
その他の包括利益累計額合計	216,804	412,925
少数株主持分	―	25,101
純資産合計	13,703,953	14,449,699
負債純資産合計	17,318,099	18,090,652

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）
売上高	7,312,646	8,022,378
売上原価	5,412,510	5,439,474
売上総利益	1,900,136	2,582,903
販売費及び一般管理費	1,922,140	1,786,254
営業利益又は営業損失（△）	△22,003	796,648
営業外収益		
受取利息	3,618	2,110
受取配当金	21,465	20,904
受取賃貸料	20,442	27,917
持分法による投資利益	23,316	28,369
貸倒引当金戻入額	―	70,483
その他	8,954	11,852
営業外収益合計	77,797	161,638
営業外費用		
支払利息	10,179	7,434
為替差損	2,303	11,833
その他	141	111
営業外費用合計	12,624	19,379
経常利益	43,169	938,907
特別利益		
固定資産売却益	905	179
製品点検補修引当金戻入額	50,000	―
負ののれん発生益	―	19,032
特別利益合計	50,905	19,211
特別損失		
固定資産除売却損	10,635	1,115
会員権評価損	5,648	―
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	1,500	―
特別損失合計	17,784	1,115
税金等調整前四半期純利益	76,290	957,003
法人税等	42,835	378,899
少数株主損益調整前四半期純利益	33,455	578,104
少数株主利益	―	5,019
四半期純利益	33,455	573,084

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	33,455	578,104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,300	113,705
為替換算調整勘定	23,772	82,414
その他の包括利益合計	21,472	196,120
四半期包括利益	54,927	774,224
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	54,927	769,204
少数株主に係る四半期包括利益	―	5,019

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループは架線及び機器用の支持部品である電気架線金物及びその付随製商品の製造、仕入、販売を営んでおり、その事業が単一セグメントであるため、記載を省略しております。